

# 1. ゴミ問題

2006. 6

●日本のゴミ処理

- ・日本のゴミ焼却場は世界一多い（右表）  
 毎日一人1キログラムのゴミを出している  
 年間で一家庭から1～2トンのゴミが出る  
 その大半が焼却処分  
     ⇒ ヨーロッパの環境先進国の10倍以上も焼却  
     ⇒ ダイオキシン排出量も世界一
- ※ヨーロッパなどの環境先進国では、厳しい規制  
 「燃やすとダイオキシン」「埋めると土壌汚染」
- ・ゴミの最終処分場（埋立地）は後10年程度しかない  
 ※日本のゴミ処理は根本的に間違っている

焼却炉の数	
日本	1 7 1 5
アメリカ	2 7 9
フランス	2 3 8
ドイツ	1 7 9
デンマーク	6 8
イギリス	5 5
OECD 2004	

●日本のリサイクル法の問題点

- ・容器包装リサイクル法が実施されている  
 しかし、回収されたペットボトルなどが処理されることなく野ざらしに
- ・家電リサイクル法も実施されている ⇒ 家電製品の不法投棄が増加
- ・日本の法律には問題点があるため、このようなことがおきている  
 1、企業（生産者）責任が含まれていない  
 2、市民（使用者）責任が含まれていない  
     ⇒この二つが含まれていないためゴミは一向に減らない

※結果として、毎月の一家庭でゴミ処理費を3万円以上負担！

※さらにRDF（ゴミ固形化燃料）を推進

- ①大量のゴミが必要、②固形化に大量のエネルギーが必要、③固形燃料でダイオキシンの発生が拡散 ⇒ 根本的解決にならない

●ヨーロッパのゴミ処理の原則（4R）

日本のリサイクル法はヨーロッパで15年も前に失敗した法律

現在は4Rによってゴミを大幅削減

① REFUSE、REDUCE（やめる、減らす）

- ・ゴミは企業責任（すべての生産物を最終処分しなければならない）  
     ⇒ 企業はゴミになるものは作らない、売らない
- ・ゴミは市民責任（ゴミの量に応じてゴミ代を払う）  
     ⇒ 市民がゴミになるものを持ち帰らない、使わない
- ・その結果、  
 野菜や卵はスーパーでもバラ売りがあたりまえ  
 買い物袋を持って買い物に行くのもあたりまえ
- ・ゴミの費用はかさに応じて直接負担  
     ⇒ 毎月数千円程度

4R：ゴミ処理の原則	
REFUSE（リフューズ）	やめる
REDUCE（リデュース）	減らす
REUSE（リユース）	再使用
RECYCLE（リサイクル）	再利用



## 【身近な環境問題】

### ② REUSE（再使用）

- ・ペットボトルは使い捨てでなく、何度も再使用をしている
  - ⇒ 店で回収をして、メーカーが洗浄し中身を詰めて販売するシステムが確立
  - ⇒ さらにペットボトルは減少し、ビンが主流になっている
- ・シャンプーなども容器を持っていくと中身だけ量り売りをしてくれる

### ③ RECYCLE（リサイクル）

- ・ほかの3つのRでゴミを減らした後にリサイクル
- ※日本は大量生産・大量消費・大量廃棄・リサイクル ⇒ ゴミは減らない。

### ●デポジット制度（企業責任と消費者責任をつなぐ方法）

- ・商品を買うときに一定の預り金（デポジット）が徴収される  
使用後、お店に持っていくときに預かり金を返してくれるシステム
- ・環境先進国では、ペットボトルやビン、缶等の飲料容器  
クルマ、家電品、蛍光灯、電池などに導入されている
- ・日本では冷蔵庫を廃棄すると4千円取られる ⇒ 不法投棄が増える  
オーストリアなどでは廃棄時に1万円戻ってくる ⇒ 不法投棄は減る

### ●ヨーロッパのゴミ政策

循環経済法によって「経済活動を自然の循環の範囲内で」と大枠を設定

- ・使い捨て容器に高額な税金、ゴミの完全分別、生ゴミの堆肥化、  
デポジット制の導入などを実施
- ⇒ ゴミを作らない、売らない、買わない社会システムになっている

### ●グリーンコンシューマ（環境意識の高い市民）

- ・お金や経済、目先、ビジネスよりも命や環境、未来、子どもたちを重視する人
- ・ヨーロッパでは、市民の7割以上が環境意識の高い市民
- ⇒ 環境を重視する法律やシステムができています

### ●経済で最も成功した国、環境で最も失敗した国、日本

- ・日本でも40年程前まではゴミはなかった ⇒ 環境先進国そのものだった  
例えば、服は縫い直したり、道具は修理して大切に使っていた。  
一升ビンは何度も再利用、買い物カゴを持って買い物に行っていた
- ・大量生産により物質的には豊かになったが、結果としてゴミ問題が生まれた
- ・日本にはグリーンコンシューマは1%しかいない ⇒ 環境政策は進まない  
⇒ 私たちの意識や考え方を変えることが必要

### ●私たちにできること

私たち自身が4Rをこころがけ、ゴミの出ない買い方・使い方をすることが基本

- ・無駄なものを買わずに本当に必要なものを買う
- ・紙袋や本のカバーなど過剰な包装は断り、買い物袋を持っていく
- ・使い捨ての物やプラスチックのものを避け、再生品や長く使えるものを買う
- ・ゴミ行政（企業責任、有料化、デポジット）に欧州並みになるように意思表示！